

# Starting Points: Japanese Art of the '80s

80年代  
起点としての



## 高松市美術館

Takamatsu Art Museum

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
Tel. 087-823-1711 Fax. 087-851-7250  
10-4, Konyamachi, Takamatsu, Kagawa, Japan  
<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>



高松市美術館  
TAKAMATSU ART MUSEUM

開館30周年記念

Sat., November 3–  
Sun., December 16  
2018

2018年  
11月3日|土・祝|一  
12月16日|日|

Hours  
Tuesday–Saturday & Holidays  
9:30–19:00 (Entry until 18:30)  
Sunday 9:30–17:00  
(Entry until 16:30)  
November 3 10:15–19:00  
(Entry until 18:30)  
Closed Monday

開館時間: 9:30–19:00  
\*但し日曜日は17:00閉館  
\*初日11月3日[土・祝]のみ  
展示室入室は10:15から  
\*入室は閉館30分前まで  
休館日 月曜日

開展式: 11月3日[土・祝] 10:00–10:15  
入場料: 一般 1,000円(800円)、大学生 500円(400円)、高校生以下無料  
\*( )内は前売及び20名以上の団体料金  
\*前売チケットは高松市美術館1階受付、高松市役所生協、  
ゆめタウン高松サービスカウンター、宮脇書店本店及び南本店にて11月2日[金]まで販売  
\*身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料  
主催: 高松市美術館 | 助成: 一般財団法人地域創造



1



2

1970年代のコンセプチュアルでストイックな表現に対する反動から、80年代の日本では絵画や彫刻の復権が唱えられ、好調な経済状況を背景として、色彩豊かで伸び伸びとした筆遣いの「ニュー・ペインティング」などが広まりました。しかし、90年以降の美術は、むしろ「おたく」など80年代のサブカルチャーに影響を受けた表現が主流となります。そのため、それ以降、80年代の美術は参照されることが少なくなりました。近年、「具体」や「もの派」など1970年代までの戦後日本美術に関する研究が国内外で急速に進んでいます。今こそ、70年代と90年代のはざまにある80年代の日本美術について深く見つめる時期に来ていると言えます。約30年を経た今日から振り返ると、80年代は、今日の美術において重要なインスタレーションという形式、作品制作への参加や社会との関係への意識、オルタナティブ・スペース、メディア・アート、「美術」という制度を相対化する視点、日常性や軽やかさを大切にする感性などが新たに生まれた、充実した時代であったことがわかります。本展では今日の視点から80年代の日本の美術を見詰め直し、「起点」となる作品を紹介します。

As a repercussion of the conceptual and stoic expressions of the 1970s, and in response to the tendencies in Europe and the United States, Japan in the '80s had borne witness to movements that urged the reinstatement of the painting and sculpture medium. What came to prevail as a result was "New Painting," characterized by vibrantly colorful and dynamic brushstrokes that appeared to reflect the flourishing economic circumstances of the times. Art since the '90s however had departed from such trends, and if anything, adopted expressions influenced by '80s subculture such as "otaku" as its mainstream. For this reason, the art of the '80s had since come to be little referred to within the context of art historical discourse. Although recent years has seen rapid progressions in studies regarding Postwar Japanese art up until the 1970s including the likes of "Gutai" and "Mono-ha," there is still much work to be done in historicizing Japanese art of the '80s. Nevertheless, reflecting upon those times over 30 years later, it is possible to see that numerous significant movements that lead to today's art had been born in this era. Such include the format of installation, awareness towards participating in the production of work as well as the relationships with society, the concept of alternative space, media art, perspectives of relativizing the institution of "art," and the sensitivity to find significance in mundanity and lightness. This exhibition revisits Japanese art of the 1980s through contemporary perspectives, and introduces works that serve as the starting points of the art of today.



3

- |       |                   |
|-------|-------------------|
| 石原友明  | ISHIHARA Tomoaki  |
| 今村源   | IMAMURA Hajime    |
| 大竹伸朗  | OHTAKE Shinro     |
| 岡崎乾二郎 | OKAZAKI Kenjiro   |
| 川俣正   | KAWAMATA Tadashi  |
| 杉山知子  | SUGIYAMA Tomoko   |
| 諏訪直樹  | SUWA Naoki        |
| 辰野登恵子 | TATSUNO Toeko     |
| 戸谷成雄  | TOYA Shigeo       |
| 中原浩大  | NAKAHARA Kodai    |
| 中村一美  | NAKAMURA Kazumi   |
| 日比野克彦 | HIBINO Katsuhiko  |
| 藤本由紀夫 | FUJIMOTO Yukio    |
| 舟越桂   | FUNAKOSHI Katsura |
| 松井智恵  | MATSUI Chie       |
| 宮島達男  | MIYAJIMA Tatsuo   |
| 森村泰昌  | MORIMURA Yasumasa |
| 横尾忠則  | YOKOO Tadanori    |
| 吉澤美香  | YOSHIZAWA Mika    |



5



4

1. 杉山知子《the midnight oasis》1983年 | 作家蔵
2. 松井智恵《あの一面の森に箱を置く》1987年  
信濃橋画廊（大塚、1987年）での展示風景 | 撮影：石原友明
3. 岡崎乾二郎《あかさかみつ》1981年 | 高松市美術館蔵
4. 森村泰昌《肖像（ゴッホ）》1985年 | 高松市美術館蔵
5. 吉澤美香《ら-9》1989年 | 千葉市美術館蔵
6. 藤本由紀夫《HERMETIC SCALE (DIAMETER)》1988年 | 作家蔵

【表面図版】

- 左：中原浩大《夢殿》2014-18年（オリジナル1984年） | 作家蔵 | 撮影：中川達彦  
 中：舟越桂《冬の本》1988年 | 作家蔵 | 撮影：落合高仁  
 右：日比野克彦《PRESENT AIRPLANE》1982年 | 岐阜県美術館蔵（部分）

関連イベント

**お問合せ・お申込みは高松市美術館**  
 （電話087-823-1711）まで

○開展式

11月3日[土・祝] 10:00-10:15 | 2階展示室前

○中原浩大公開制作

11月3日[土・祝] 11:00-12:00 | 1階エントランスホール  
 無料・申込不要

○開館30周年記念 原田マハトークショー

「アートでなければなんでもない 80'sアートの覚醒」  
 11月3日[土・祝] 14:00-15:30 (13:30開場)  
 1階講堂 | 先着170名（定員になり次第受付終了）  
 無料【要電話申込：10月5日[金] 8:30-】

○日比野克彦 茶室《HIBINO庵》(仮称) 公開制作

11月9日[金] 13:00-19:00、10日[土] 10:00-18:00  
 1階エントランスホール | 無料・申込不要  
 \*途中休憩あり。時間変更の可能性あり。

○高松工芸ワーク共催事業

茶室《HIBINO庵》(仮称) 完成記念茶会  
 11月11日[日] 10:00、11:00、12:00、  
 13:00、14:00-  
 1階エントランスホール | 定員各回先着8名  
 参加費700円【要電話申込：10月16日 8:30-】

高松工芸ワーク(11/8-14)は、工芸に関する高松のあらゆるサイトを結び、多彩な高松の工芸の数々を体感していただくイベントです。

ウー  
イ  
ー  
ク

○館長講座「まぶさび教室シーズン5

着た・見た・考えた～体験的80年代考」（5回シリーズ）  
 ①11月10日[土]「アートはヤワコい」  
 ②12月1日[土]「超少女たち」  
 (以後③1/12 ④2/9 ⑤3/2) 各11:00-12:00 (10:45開場)  
 講師：篠原資明(当館館長) | 1階講堂  
 定員各回先着60名程度 | 無料・申込不要

○TOTOMOMO+work=shop オープン!

12月1日[土] 10:00-17:00  
 出品作家の杉山知子さんが自作グッズを販売するお店が1日限定でオープン! 随時参加可能なワークショップも開催。

○エントランス・ミニコンサート「80年代ヒット曲」

12月8日[土] 13:30-14:00 | 1階エントランスホール  
 予約不要・無料 | 出演者：藤田哲志(フルート)、  
 藤田亜子(サクソ)、大山まゆみ(ピアノ)

○ギャラリートーク(展示解説)

・学芸員：11月11日[土] 14:00  
 ・ボランティア：会期中の日曜日・祝日 14:00 (但し、11月3日除く)  
 2階展示室 | 要観覧券

●その他の催し

- 第3期常設展「1990年代以降の日本現代美術」「讃岐漆芸—その始まりから現代まで」12月24日[月・祝]まで
- 石川直樹 地球冒険トーク 11月25日[日]
- 【要電話申込：11月1日 8:30-】
- やなぎみわ展 2月2日[土]-3月24日[日]



【交通のご案内】

- ・JR四国：高松駅下車、南へ徒歩約15分
- ・ことでん：瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
- ・バス路線：(ショッピング・レインボー循環バス)
- ・紺屋町バス停、徒歩約2分(まちなび) 丸亀町参番街下車、徒歩約3分(高速バス) 県庁通り下車、徒歩約8分
- ・駐車場：美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車約144台収容)